

成果あげたエリーニ・ユ協の7年間の ESD・ユネスコスクールの取り組み

エリーニ・ユネスコ協会 ニューズレター 9号 [1]



日本ユネスコ協会連盟松田昌士会長の御講演

6月28日、大阪大学中之島センターオンにおいて、第1回となる大阪府ユネスコ連絡協議会総会が開催されました。大阪ユネスコ協会、エリーニ・ユネスコ協会、箕面ユネスコ協会設立!

エリーニ ニュースレター vol. 9

9号(平成27年) 2015.12月発行

UNESCO United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization エリーニ
ユネスコ協会

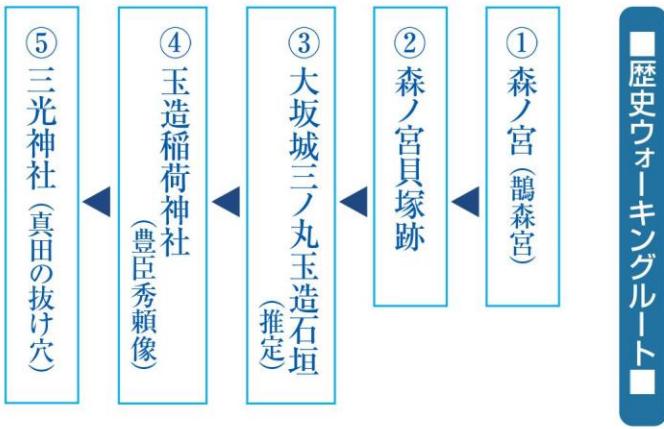
大阪市中央区備後町3-6-2 KFセンタービル Tel.06-6264-4455



第16回なにわ・上町台地歴史ウォーキング 「豊臣大坂城の城下と真田幸村を歩く」

■開催日時 平成27年5月24日(日)
10時30分~15時
■講師 西田孝司先生

本年は、豊臣方と徳川方が大坂城の攻防をめぐつて戦った大坂の陣から400年になります。豊臣秀吉は大坂城を築くとともに、北は大川、南は長堀通(空堀通)、東は現環状線(旧猫間川)、西は東横堀川・松屋町通に囲まれた城下つまり総構(そうがまえ)をつくりました。また、豊臣秀頼や淀君を守った真田幸村は、空堀の地で真田丸の出城を築き戦いました。今回は、総構の東・南側の史跡を中心にウォーキングし、大坂の陣400年をたどりました。



■エリーニ・ユネスコ協会とは…

1994年12月…創立
1995年 2月…日本ユネスコ協会連盟から承認

エリーニ・ユネスコ協会は、日本ユネスコ協会連盟に加盟する大阪では大阪出身の人が活動をしている団体です。大阪の上町台地が日本で最も古くから開けた町であることに着目し、上町台地をユネスコ世界遺産に!と歴史シンポジウムや歴史ウォーキングを開催し、地域遺産「私のまちのたからもの展」を開催するなど上町台地を世界に発信することを目指しています。また、ユネスコの理念に基づいたパイロット校(ユネスコ・スクール)の加盟を進め、U's(青年部)はユネスコ・スクールの卒業生たちを中心

エリーニとはギリシャ語で「平和」を意味します。

として、学校や地域社会とコーディネートしながら進め、子どもたちが地域の良さに気付き、誇りをもつことのできるよう「地域から発信する」活動を展開しています。

年会費

- 個人会員…6,000円 ■青年会員…3,000円
- 家族会員…6,000円(個人会員のご家族のみ)
- 維持会員(法人会員)…12,000円(一口)

※例会や各種イベントは「会員による自由意志参加」を原則としており、拘束はありません。

まずは知ることから
(申込の流れ)

STEP 1
興味を持ったら
事務局までお電話を

STEP 2
例会や行事に1日会員として
参加をしてみる

STEP 3
入会を申し込む
(事務局宛に申込書を送付)

エリーニ・ユネスコ協会 ニューズレター 9号 [4]

2005年より開始された「ESD10年」は、2014年のユネスコESD国際会議で終了、ESDは2015年より第2ステージに入りました。その中心になるのが国際会議で採択されたGAP(グローバルアクションプログラム)です。そのポイントの一つはESDの視点に立った地域づくりです。そのためにはESD活動に取り組むユネスコ協会をはじめ様々な地域の団体・組織がネットワークして取り組むこと、二つは若い世代のESDへの参加です。それゆえこれからESDへの参加は今後ますます重要性と責任を帯びてくることになるでしょう。

ところで、わが国の「ESD10年」は、ESDの普及の拠点として位置付けたユネスコスクール(US)の普及に力を入れてきました。エリーニ・ユ協でも早く2008年より全国のユ協に先駆けて大阪府内のUSの普及に取り組み、「USセミナー」を実施してきました。現在、わが国のUSは939に迄发展してきましたが、大阪のUSは45校です。日本ユネスコ協会連盟では、USの普及と共に、ユネスコ協会とUSをつないでいく役割を担つた「ESDパスポート」プロジェクトを2013年から実施、エリニ・ユ協も全国のユ協に先駆けて大阪府内12の高校USを対象に進めてきました。これは、高校生のボランティア活動をUS各校のESD実践に位置づけるというユニークな取り組みです。

今年度からは、今までのエリーニ・ユ協が主導として取り組んできた「セミナーパスポート」を大阪府全域の活動として更に発展させるために、その主管を今年6月に発足をみた大阪府ユネスコ連絡協議会に移すことになりました。無論、エリーニ・ユ協のリードが期待されていることは言うまでもありません。

今年、12月26日には「ESDパスポート」の高校生のボランティア活動発表会・ワークショップが、大阪国際交流センターでのワン・ワールド・フェスティバルで予定されています。(米田伸次)



ESDパスポート実践発表会での表彰の様子
National Federation of UNESCO Associations in Japan
ESD PASSPORT

ユネスコ(UNESCO 国際連合教育科学文化機関)は1945年11月に第二次世界大戦の反省の上に立って、ユネスコの理念「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。= UNESCO憲章前文より」に基づき UNESCOの Education(教育)の教育支援(ユネスコ寺子屋運動)、Science(科学)の平和利用、Culture(文化)世界遺産・地域遺産活動など、教育と科学と文化の分野で仲良くしていく世界を平和にしていくことを目標にしている国連の機関です。

ESDとは、現代社会の課題を自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

Think globally, Act locally

エリーニ・ユネスコ★エコプロジェクト ペットボトルキャップ回収累積

(平成27年12月現在)

1,492,141 個

※ペットボトルキャップ800個でワクチン1人分です。
ペットボトルキャップ回収に関するお問い合わせ
(エリーニ・ユネスコ本部事務局 Tel:06-6264-4455)

この数は、ワクチン:1,865人分、
削減CO₂:11,750kg になり、
たくさんの子どもの命や
地球環境保護に
大きな貢献となっています。



